

にこにこハウス医療福祉センター入所ご利用の皆様
愛の基金の御礼 ～第12報～

2020年8月28日
施設長 河崎洋子

いつも当センターの運営にご協力をいただき、ありがとうございます。

新型コロナウイルス感染第2波に加えて、お盆を過ぎても続く酷暑にうんざりの日々です。その中で、嬉しいご報告です。7月20日に「**重症児者を COVID-19 から守ります!**」**愛の基金**を発信させていただき、僅か1ヶ月余りで目標額を達成する事ができました。入所利用者ご家族、外来利用者ご家族、職員、当センター関係者、企業、ホームページを見て等多くの方々がご協力をして下さいました。とりわけ入所家族会から多額のご支援を頂きました事で、目標額に短期間で達成できたことに厚く御礼申し上げます。すでに感染対策整備として、陰圧テント4台、空気清浄機（オゾン消毒機能搭載）2台は納入されてフル稼働しており、今後9月末までにクリーンパーテーション21台、空気清浄機51台が納品予定となっています。

さて8月19日に和歌山県の重症児者施設で職員2名の新型コロナウイルス発症が報道され、21日には入所利用者1名の発症がありました。当該施設ではその後入所、短期入所、日中一時支援利用者と職員194名のPCR検査が実施され、全員の陰性が確認されています。十分な感染対策がなされていれば、たとえ発症者が出ても集団感染しない事が証明されて少し安心しました。しかし、PCR陰性でも濃厚接触と判断された職員20数名が2週間の自宅待機となっているようです。現在も不足する人員で職員の不安が募る中、日々のケアに加えて消毒作業、マスコミ対応と大変な状況のようです。

発症2日前より感染力を持つと言われていいますので、いずれ当センターでも職員の発症者が出る事は予想されています。その時に利用者に感染させない事と濃厚接触者となり自宅待機になる職員を作らないよう、全職員が感染対策を徹底して取り組んでいます。皆様から頂いている温かいご支援を支えにまだまだ頑張りますので、今後もお協力の程、よろしく願いいたします。